



松庵だより

第721号 9月号
令和7年9月1日
杉並区立松庵小学校



「一日一日を大切に」

副校長

44日間の長い休みが終わり、子どもたちの登校と共に学校に活気が戻ってきました。子どもたちの様子から夏休みにしか体験できない様々な経験をして、心も体も一回り大きく成長したことを感じます。松庵小学校では、夏季休業中に体育館の照明工事が行われ、明るく使いやすくなりました。児童用のタブレットも使用年度に応じた交換のための準備がすすんでいます。また、校内の何本かの樹木も剪定業者によりさっぱりしました。学校全体で、子どもたちの教育活動が充実するようにすすんでいます。

話は変わりますが、本校の6年生は、総合的な学習の時間でキャリア教育を行っています。職業について調べたり、様々な職業の方のお話を直接お聞きしたりする中で、自分の大切に思う価値観に向き合い、将来について考えを深めます。1学期の終わりには、一人ひとりが興味のある職業について仕事内容や必要な資格、条件を調べ発表していました。弁護士や薬剤師、車掌、トリマーなど多岐にわたり、子どもたちの可能性を感じました。発表を聞いていると、仕事に必要な能力で共通する内容が挙げられていました。それは、「コミュニケーション能力」です。気になったので改めて「コミュニケーション能力」について調べると、この言葉は幅広い意味で使われていました。文部科学省の中央審議会の資料の中でも、「コミュニケーション能力については様々な定義があるが、文部科学省の有識者会議においては、『いろいろな価値観や背景をもつ人々による集団において、相互関係を深め、共感しながら、人間関係やチームワークを形成し、正解のない課題や経験したことのない問題について、対話をして情報を共有し、自ら深く考え、相互に考えを伝え、深め合いつつ、合意形成・課題解決する能力』と定義する」とありました。また、「コミュニケーション能力」の向上には、言語能力（話す・聞く・書く・読む）や非言語能力の向上も必要であるとされていました。これらの能力を育てる上で、私は「言葉」を大切にしてほしいと感じます。言葉には、誰かとつながったり、他者との関係をより良くしたり、前向きな気持ちになれたり、自分の考えを深めたりする力があります。半面、他者を傷つけたり、追い込んだりするような力ももっています。だからこそ、自分の発している言葉を振り返りつつ他者と関わり、相手のことや相手が伝えようとしていることを理解し、自己の考えや気持ちを深めてほしいと思います。

2学期は、体育学習発表会や学芸会、移動教室（5年生）など大きな行事があります。言葉を大切に、多くの人と関わり、自己実現を目指してほしいと思います。今学期もご協力よろしくをお願いします。

「小中一貫教育について」

研究主任

杉並区では、義務教育の9年間を通して学びの系統性や連続性を意識し、学びの当事者として主体的、対話的で互いを認め合う協働的な学びを推進しています。松庵小学校では、高井戸第二小学校、西宮中学校を連携校として、教員同士が互いに授業を見合って協議したり、6年生が中学校の授業や部活動を体験したりする機会を作っています。

今年度は、小中一貫教育研修のテーマを「九年間を見通した児童生徒の育成を目指して」と設定し、研修を進めています。1学期は、松庵小学校にて授業公開と協議会を行いました。教科ごとのグループに分かれて教科の系統性について話し合ったり、テーマ別のグループに分かれて、教育上の諸課題について情報共有をしたりしました。テーマには、「中1ギャップ」「ICT機器の活用」「不登校支援」などが含まれており、近隣の学校として同じ問題意識を共有できる機会となりました。

2学期には、西宮中学校の授業を小学校教員が参観し、学習や生徒の様子、授業について情報交換をしたり、6年生が中学校を訪問し授業体験や部活動体験を行ったりする予定です。中学校の先生による授業を体験したり、興味のある部活動に参加したりすることで、中学校への意識を高め、不安を少しでも軽減できるようにしています。これからも地域の学校が共に子供たちを育てていけるよう連携を深めていきます。